

「がん」の予防と早期発見を。



国 民の2人に1人が「がん」になり、3人に1人は「がん」で亡くなっています。「仕事が忙しい」「心配ならいつでも受診できるから」「健康には自信がある」などの理由で、検診を受けない方も多いと思います。しかし、「がん」の多くは、早く見つければ治る確率も高まります。市が実施している各種がん検診や、職場の健康診断などを、定期的に受診しましょう。

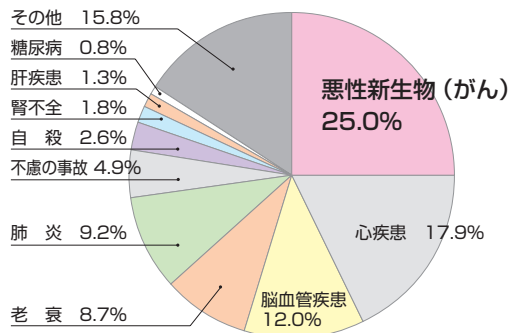
がん検診の受診状況を知る

田原市におけるがん検診の受診状況を分析しました。「乳がん検診」を例に、その傾向をご紹介します。

1 校区別の特徴を発見

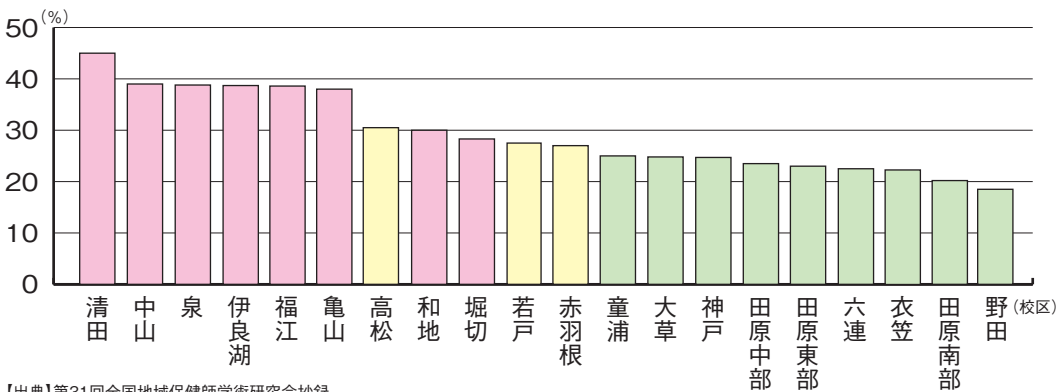
「乳がん」にかかる方の多い40～50歳代の女性を対象に、平成16～20年度の5年間に於いて、市の「乳がん検診」を受けていない方の率を校区別に分析しました。その結果、赤羽根地域・渥美地域で未受診率が高いことが分かりました。(グラフ2)

グラフ1 田原市の死因別死亡者割合 (H15～19年)



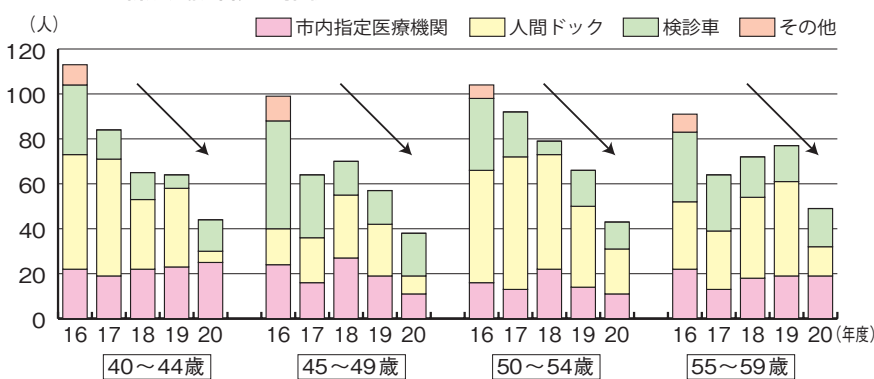
【出典】平成20年度田原市の保健

グラフ2 校区別乳がん検診未受診者率 (40～59歳・H16～20年度)



【出典】第31回全国地域保健師学術研究会抄録

グラフ3 新規受診者数の推移



【出典】第31回全国地域保健師学術研究会抄録

2 新規の受診者が減少
最も検診を受けていた40～59歳代では、乳がん検診を初めて受けた方が減っています。